

市民文化スポーツ局

一般会計要求総額 12,647 百万円
(対前年度 +0.7%)

【平成30年度 予算要求の経営方針】

市民文化スポーツ局は、「人にやさしく元気なまちづくり」の実現に向けて、以下の4点について重点的に取り組み、市民主体のまちづくりを推進します。

- ◎ 文化芸術の街・北九州の発信
- ◎ スポーツを通じたまちのにぎわいづくりの推進
- ◎ 安全・安心を実感できるまちづくりの推進
- ◎ 市民との協働・連携の推進

【平成30年度 予算要求の基本的な考え方】

(新)：新規事業、(拡)：拡充事業、(継)：継続事業

文化芸術の街・北九州の発信 要求額 4,160百万円 (対前年度 ▲8%)

文化振興計画に基づき、市民が文化芸術を身近に感じることができる環境づくり、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会を契機とする国際色豊かな魅力ある事業の検討、「2020年東アジア文化都市」の誘致などに取り組み、文化施策を総合的に推進します。

- ・(新) 創造都市推進事業
- ・(新) 文化関連施設多言語化推進事業
- ・(拡) 美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」
- ・(新) 松本清張記念館開館20周年記念事業 など

スポーツを通じたまちのにぎわいづくりの推進 要求額 2,648百万円 (対前年度 +20%)

スポーツを「する」、「みる」、「創る・支える」市民の増加を目指し、大規模国際大会等の誘致や市民参加型スポーツイベント等の実施、オリンピック・パラリンピック等に向けたトップアスリートの育成や競技スポーツの支援などに積極的に取り組みます。

- ・(拡) 大規模国際大会等誘致事業
- ・(新) ラグビーW杯ウェールズ交流プログラム推進事業
- ・(新) ジャパンオープン・荻村杯2018国際卓球選手権北九州大会開催事業
- ・(拡) 桃園市民プール(室内)整備事業 など

安全・安心を実感できるまちづくりの推進 要求額 510百万円 (対前年度 ▲5%)

北九州市安全・安心条例に基づき、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進し、地域、事業者、学生等の自主防犯活動の活発化を図るとともに、安全・安心な都市イメージの発信に取り組みます。また、通学路防犯灯の充実や防犯カメラの設置支援のほか、暴力追放運動の推進など、警察等と連携し、暴力団排除に取り組みます。その他、高齢者の運転免許証の自主返納を支援します。

- ・(拡) 日本トップクラスの安全・安心なまちづくり関連事業
- ・(新) 運転免許証自主返納支援事業
- ・(継) 通学路防犯灯事業
- ・(継) 暴力追放運動の推進 など

市民との協働・連携の推進 要求額 5,330百万円 (対前年度 +6%)

市民に地域コミュニティや協働の重要性の理解を求めながら、主体的な地域づくりを促進するための取り組みを実施するとともに、市民の学習活動を支援し、地域活動に参画する人づくりを進めます。また、地域の拠点である市民センターの充実を図るとともに、マイナンバーカードの普及に取り組みます。

- ・(拡) 市民センターの充実
- ・(継) 自治会加入促進事業
- ・(継) 地域課題解決のための人材活用支援事業
- ・(継) マイナンバーカード関連事業 など

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成30年度に実施することが確定しているものではありません。